

アジア太平洋都市サミット(APCS)について

1. アジア太平洋都市サミット(略称:APCS)とは

アジア・太平洋州の都市間の交流を促すために、2年に1度、100以上の同地区の州・県・市が参加して開催される。本部はオーストラリアのブリスベン。

2001年アメリカのシアトル市で第1回大会が開催され、それ以降、オーストラリアのブリスベン、中国の重慶、韓国の仁川など環太平洋の地域の主要都市で実施されている。

2013年は9月9日～11日に台湾・高雄市で開催予定(第7回)。世界から60か国、日本から4県・市が出席予定。

2. 知事がパネリストとして出席する分科会について

(1) 日時: 9月9日(月)15:20～16:30

(2) 場所: APCS 会場内 (高雄市・高雄アリーナ)

(3) 分科会名: 「Changing City Lifestyle and the Public Driven Economy」
(変化する都市のライフスタイルと市民主導の経済活動)

他に、14テーマがあり、テーマ毎に分科会がもたれる予定。

(4) 出席者:

- ・ コーディネーター : シン・チェン氏 (高雄市文化局長)
- ・ パネリスト :

① 熊本県知事 蒲島郁夫

② アソン・チェン氏

(台湾のレコード会社ビーイン・ミュージック社の CEO)

③ ヘンリー・シェン氏

「1300 オンリーポーセリン」という台湾の陶芸家集団を主宰する陶芸家

(5) 知事のプレゼンテーション予定内容

今や「日本一のゆるキャラ」から日本を代表するスーパーキャラクターに成長した「くまモン」。県民幸福量最大化を具現化するために考案されたこのキャラクターがどのように誕生し、どのような戦略のもので地域や経済の活性化に寄与したかについてプレゼンテーションを行い、本県のアピールを行う。